

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	茗荷谷ここわ保育園
法人名	株式会社ディアローク
法人所在地	東京都渋谷区渋谷3-8-12 渋谷第一生命ビルディング7階

1. 活動のテーマ

<テーマ>

当園が開園以来継続して行っている教育活動の中の【英語】を活かしながら【世界】についての探究活動を実践し、非認知能力の向上等の保育内容の充実を図ります。

<テーマの設定理由>

当園は開園以来、外国人英語講師が週2日来園し、レッスンでは保育者も生徒として園児と一緒にレッスンを受け、保育者も園児も英語は身近なことばとして存在しています。2024年度は子どもたちが同じ絵本、同じメロディの歌を日本語と英語で体験、体感することで、ことばに対する興味が拡がりました。2025年度は子どもたちがさらに主体性を持って活動するように、英語ということばにとどまらず、英語を話している国や、その文化、また英語を話していない国や、その文化にも興味を広げ【世界】に注目しようと考えました。

2. 活動スケジュール

【問いかけ】日本以外の世界の色々な国について目を向けてみよう

【流れ】主だったいくつかの国について調べてみる 各国のシンボルや国について英語で教えてもらう 呼び名を知ったりその国についての興味を広げる

【探究活動の実践と記録】

*対象 5歳児クラス

*教材 「世界の国」図鑑 世界6か国と日本のシンボルがわかる絵本 各国のぬりえ

【振り返りや共有】毎月月末に英語講師と職員のブリーフィングをおこなっているので、そこで探究活動の共有を行い、次月の問いを考え環境設定や探究活動のスケジュールを話し合います。保育者同士は職員会議で振り返りや共有を行います。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【環境設定】 取り掛かりとしてクラスで外国の興味のある国について話し合い、図鑑や地球儀などをを使ってその国について調べました。それぞれの国のシンボルを製作したり、自分たちで調べた特徴などについてクイズを作ったり発表を行いました。次に英語講師の来園日に探究活動を行うよう環境を設定しました。

【素材】

- * 絵本、国旗かるた、地球儀、図鑑
- * 6か国と日本合わせて7か国のぬりえ



4-①. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>①調べる

子どもたちで興味のある国を選び、それぞれの国について特徴やシンボル、国旗などを調べました。その結果アメリカ、フランス、韓国、イギリス、中国、オーストラリア、日本に決め、図鑑や地図、地球儀を使ってその国について色々なことを知り、特に気になったことなどを絵や文章で書き出しました。

※写真添付



<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

子どもたちで選んだ国について一か国ずつ何が有名であるか、特徴は何であることを図鑑等を使って調べました。興味のある児は積極的に調べ、その児が見つけた物を更に深く調べることで、他の児も興味が徐々に出てきて一緒に調べる姿があった。保育者はより詳しく調べることができるように促し関わっていきました。

【振り返り】世界の国について思いのほか子どもたちが興味を示し、グループごとに図鑑を見ながら色々と話が盛り上がっていた。日本以外の国を知る良い機会になると良いと思う。

【次回への問い】

興味を示す児が増えることで更に詳しく調べたい気持ちが強まっている様子が見られる。子どもたちで決めたその国を象徴するものを、一つに絞り、製作で作っていく。

<活動の内容>作る、発表する

①の活動で調べたものの中で形にするものを選び、ビッグベンや万里の長城、富士山等世界の有名な建物を色々な製作用具を使って作り上げました。「ワールドスクエア」と題して展示し、保護者を招いて展覧会を開催しました。子どもたちがアテンドしたりクイズを出したりしました。

※写真添付



<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

自分の担当の国を決め、その国の特徴や、製作物の見るポイントを自分たちの言葉で保護者を招いて発表した。当日までたくさん調べ、意欲的に取り組んでいたことで、自信がついたようで、発表も胸を張って大きな声で行うことができていた。

【振り返り】友達同士でいろいろな国を調べ、色々な国があることがわかってきた。各国のシンボルを作りながら楽しく普段の会話の中にも話題として出るようになり、日本以外の国についての興味、関心が出てきたように感じる。

【次回への問い】まずは自分たちで調べたが、次回からは英語の時間の中で外国人の先生から教えてもらうことになるので、更に世界の国についてのイメージが広がるのではないかな。

4-②探究活動の実践（英語）

<活動の内容>各国について学ぶ ①アメリカ

英語講師と地球儀で国の場所を確認し、英語での国の呼び方を知る。図鑑や写真を見せてもらいながらアメリカの有名な場所や物、食べ物等を教えてもらったり、どんなところか話を聞く。子ども達も自分が知っていることを話したり質問したりして理解を深める。簡単な歌を教えてもらう。アメリカのシンボル等の塗り絵をしてアメリカブックを作る。



<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

ハリウッドを自分たちで作ったことを伝え、ハリウッドについて思い出しながら話す姿があった。英語講師がハリウッドについて話、それとは別にハワイのフラダンスの写真を見せ実際に踊って見せると更に興味を湧かせてフラダンスと一緒に踊りました。



【振り返り】アメリカが地図上でもとても大きな国だということがイメージ出来たようだ。本土から離れているのにハワイもアメリカなのが不思議なようだった。

【次回への問い】次回はフランスがテーマだが、アメリカとの違いをどう感じるだろうか。

<活動の内容>各国について学ぶ ①フランス

英語講師と地球儀で国の場所を確認し、英語での国の呼び方を知る。図鑑や写真を見せてもらいながらフランスの有名な場所や物、食べ物等を教えてもらったり、どんなところか話を聞く。子ども達も自分が知っていることを話したり質問したりして理解を深める。簡単な歌を覚えてもらう。フランスのシンボル等の塗り絵をしてフランスブックを作る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

エッフェル塔とモナリザ、ルーブル美術館で自分たちで調べた話を振り返り話していた。新たにアフタヌーンティーについて教えてもらい更に深くフランスについて知ることができる機会となっている様子だった。



【振り返り】絵が好きで美術館に行ったことがある子がルーブル美術館について楽しそうに友だちに語る姿があった。それぞれ興味を持つ視点が違うのだと感じた。

【次回への問い】次回は韓国ということで、身近な国をどう感じるだろうか。

<活動の内容>各国について学ぶ ③韓国

英語講師と地球儀で国の場所を確認し、英語での国の呼び方を知る。図鑑や写真を見せてもらいながら韓国の有名な場所や物、食べ物等を教えてもらったり、どんなところか話を聞く。子ども達も自分が知っていることを話したり質問したりして理解を深める。簡単な歌を教えてもらう。韓国のシンボル等の塗り絵をして韓国ブックを作る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

ランタンフェスティバル、チマチョゴリ、に着目して行いました。ランタンフェスティバルでは自分たちの知っているランタンとは違った形のランタンの写真を見ると迫力があって目を丸くしながら興味を持っている姿があった。



【振り返り】韓国は日本に一番近く外見が日本人と似ているが、文化が違うことはわかっているようだった。古い歴史よりも最近のポップなカルチャーについての話が楽しそうだった。

【次回への問い】次回はイギリスということで、行ったことがある子もいるのでその子にも感想などを聞いてみたい。

<活動の内容>各国について学ぶ ④イギリス

英語講師と地球儀で国の場所を確認し、英語での国の呼び方を知る。図鑑や写真を見せてもらいながらイギリスの有名な場所や物、食べ物等を教えてもらったり、どんなところか話を聞く。子ども達も自分が知っていることを話したり質問したりして理解を深める。簡単な歌を教えてもらう。イギリスのシンボル等の塗り絵をしてイギリスブックを作る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

イギリスの国旗についても国旗のデザインに意味があることを知った。ハリーポッターを見たことのある子たちはイギリスが舞台の話だったことがわかった様子だった。また、家族旅行でイギリスに行ったことがある子は思い出しながら他の児に色々と感想を述べていた。



【振り返り】ハリーポッターがイギリスの話だということが分かりイギリスのイメージができた様子だった。家族旅行に行ったことがある子が実際に見た観光地についても感想を話していたが、子どもたちの心が世界に向くのは良いことだと感じた。

【次回への問い】次回は中国がテーマだが、クラスに中国出身の子がいるので、どんな国なのか発表が聞けると良いと思う。

<活動の内容>各国について学ぶ ⑤中国

英語講師と地球儀で国の場所を確認し、英語での国の呼び方を知る。図鑑や写真を見せてもらいながら中国の有名な場所や物、食べ物等を教えてもらったり、どんなところか話を聞く。子ども達も自分が知っていることを話したり質問したりして理解を深める。簡単な歌を教えてもらう。中国のシンボル等の塗り絵をして中国ブックを作る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

以前万里の長城、パンダについて調べて製作物を作っていた。万里の長城が長く世界遺産であることを改めて確認し、パンダは中国の宝であるということを知ると更に興味を湧かせている姿があった。



【振り返り】 クラスに中国人の子がいるので、他の子から中国のことについて質問されて嬉しそうだった。パンダが一番盛り上がった。

【次回への問い】 次回はまた大きな大陸のオーストラリアで、他の国とまた違った特色について何か感じることもあるだろうか。

<活動の内容>各国について学ぶ ⑥オーストラリア

英語講師と地球儀で国の場所を確認し、英語での国の呼び方を知る。図鑑や写真を見せてもらいながらオーストラリアの有名な場所や物、食べ物等を教えてもらったり、どんなところか話を聞く。子ども達も自分が知っていることを話したり質問したりして理解を深める。簡単な歌を教えてもらう。オーストラリアのシンボル等の塗り絵をしてオーストラリアブックを作る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

エアーズロック、オーストラリア横断鉄道、コアラ、カンガルー、オペラハウス、虫よけの帽子やジャムについて調べて話し合いました。カンガルーはとても強い力を持っており、その話が楽しかったようで興味を示し、会話が盛り上がっていた。



【振り返り】 オーストラリアが日本から遠く、とても大きな国だということを知った。オーストラリアにしか生息しない鳥や動物がいることに驚いていた。

【次回への問い】 次回は私たちが住んでいる日本に戻るが、色々な国を知った後に日本についてあらためてどんな違いを感じるだろうか。

<活動の内容>各国について学ぶ ⑦日本

英語講師と地球儀で国の場所を確認し、英語での国の呼び方を知る。図鑑や写真を見せてもらいながら日本の有名な場所や物、食べ物等を教えてもらったり、どんなところか話を聞く。子ども達も自分が知っていることを話したり質問したりして理解を深める。簡単な歌を教えてもらう。日本のシンボル等の塗り絵をして日本ブックを作る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

富士山、東京タワー、スカイツリー、桜について話をした。富士山、東京タワー、スカイツリーの高さを英語で発音したりしました。知っている高さではあったが、英語での言い方を初めて知ることによってとても嬉しそうに言っている姿があった。また、日本では温泉につかる猿がいる話にはとても興味を示している様子が見られました。



5-③. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】 普段当たり前のように知っていた日本の文化について、他の国から見たら特別な物なのだというのを感じてくれたらという思いで最後に「日本」をテーマに持ってきたが、富士山や桜等が日本のシンボルだということを理解したようだった。

5. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちは、日本語と英語ということばの違いから日本語を話す国、そして英語を話す国、日本語も英語も話さない国などがあることを知り、日本以外の国「世界」があることに気づきました。色々なことばがあり、色々な食べ物があり、色々な国があることにも気づきました。今度は日本に立ち戻って、日本語特有の擬音語や擬態語などのことばを英語のそれと比較することで、より日本のことばを丹念に拾い集めていくことを考えていきたい。